

# PDCAサイクルに沿ったアジャイル型 在宅医療・介護連携推進事業

## モデル地域（市町村&都道府県）募集

申込締切  
8月22日



在宅医療・介護連携推進事業は難しい。それなら、アジャイル型で進めましょう。

### 「アジャイル型」とは？

「素早い」、「機敏な」という意味で、システム開発やソフトウェア開発で用いられる、実装とテストを繰り返して開発していく手法のことです。  
政府の行政改革では、その発想を行政において活かす「アジャイル型政策形成・評価」が進められています。



機動的で柔軟な行政に特に求められる2つのアプローチ

PDCAサイクルを回し、  
環境変化に対応しながら  
政策効果を上げることを目指す  
ダイナミック（動的）なEBPM

経験のない課題について、  
考え得る最善の政策でチャレンジし、  
トライ&エラーで精度を向上

出典：EBPMガイドブック～政策担当者はまず読んでみよう！行政の「無謬性神話」からの脱却に向けた、アジャイル型政策形成・評価の実践～2023.4.3 Ver1.2（内閣官房行政改革推進本部事務局）

支援チーム  
（アドバイザー＋事務局）  
による集合型の  
オンライン支援  
（必要に応じて現地支援）

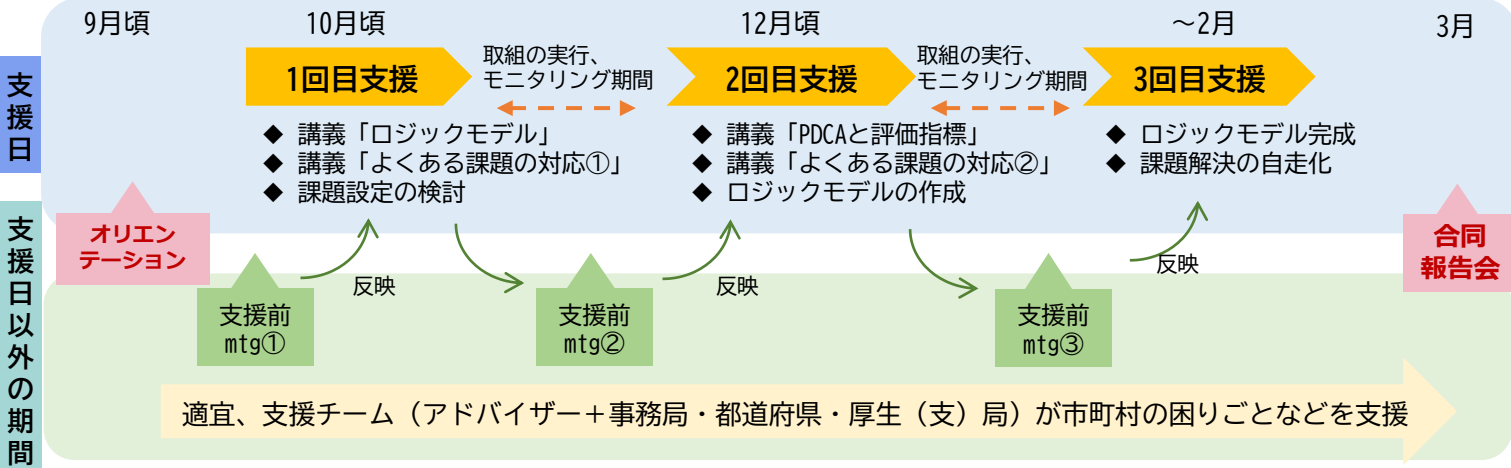
個別支援のイメージ



### 市町村が抱える解決したい地域課題の例

- 退院後のリハビリや栄養改善が不十分で再増悪、再入院してしまう。
- COPDの患者の自立支援、どこまで本人にやってもらうべきか難しい。
- 認知機能や理解力に課題があり、適切に医療を受けられていない。
- そもそも、どうやったら地域の関係者は動いてくれる？
- PDCAサイクルって、どうやって回したらいい？

### ◆事業の進め方



### ◆支援チーム：アドバイザー ※五十音順、敬称略

お名前	ご所属
川越 正平	松戸市医師会 会長
坂上 陽一	公益社団法人肝属郡医師会 肝属郡医師会立病院 地域医療室長
松本 小牧	豊明市 市民生活部 共生社会課 課長
村井 千賀	石川県立こころの病院 認知症疾患医療センター 副所長
吉田 俊之	公立大学法人埼玉県立大学 地域連携センター 教授

事務局
日本能率協会 総合研究所
服部 真治 井澤 久美
※ 弊社定額制アドバイザーサービスや地域づくり加速化事業等、市町村支援経験が豊富な研究員が担当



◆事業概要

在宅医療・介護連携推進事業では、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するため、特に重要となる4つの場面（日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り）等について、**PDCAサイクルに沿って取組を推進**していくことが求められています。

しかしながら、**地域の実情に応じた現状分析や課題抽出**の具体的な手法がよくわからない、**評価指標**の設定が難しい、関係他部署や多機関多職種との**連携体制の構築**が進まない、このまま続けていても**成果**が出ると思えない、変えなければならないと思っているがどこから始めたらよいのかわからない、といった声を聞くことは少なくありません。



こうした現状を踏まえ、より効果的・効率的な在宅医療・介護連携の推進に向けて、**市町村及び都道府県を対象**とした有識者（アドバイザー）による連携支援事業をモデル地域において実施します。

これは、取組主体となる地域の実情にあわせ、**アドバイザー等とともに課題を設定し、その解決に向けてアジャイル型で一緒に取り組むモデル事業**です。

基本的にオンラインで実施しますので、全国どこの市町村でもご参加可能。地域の関係者も職場を離れずに参加することが可能です。

また、**地域ケア個別会議**を起点とした政策形成手法の実践をベースに、ツールとして都道府県医療計画で採用されている**ロジックモデル**を活用しますので、第10期介護保険事業計画策定に向けて、地域ケア個別会議やロジックモデルを活用した政策立案の方法を学ぶこともできます。

◆実施概要

応募方法	<p>★市町村と都道府県（保健所等含む）による「チームでの参加」を前提とします</p> <p>参加を希望する市町村担当者と都道府県担当者が所定の<b>エントリーシート</b>に必要な事項を入力し、事務局にメールで応募する（応募は市町村からでも都道府県からでも可）</p> <p>・応募締切：<b>2025年8月〇日（〇）17時</b></p> <p>※在宅医療の担当部署が、介護部局、医療部局など複数に分かれている場合、両部署が参画することが望ましい</p> <p>※ご応募にあたりご不明な点がある場合には、事務局までお気軽にお問合せください</p>
実施方法	<p>・<b>原則、オンライン</b>による3日間の集合型プログラム</p> <p>※支援日以外も、オリエンテーションや個別フォローアップ、合同報告会などの充実した支援</p> <p>※必要に応じて現地支援も行います</p>
募集数	<p>・4地域</p> <p>※市町村・都道府県（保健所等も可）を1ペアとします</p> <p>※二次医療圏単位など複数市町村が同じ課題に対してともに検討・実施する場合、1地域として取り扱います</p>
応募条件	<p>・市町村と都道府県（保健所等含む）が一緒に参加し、主体的に取り組めること</p> <p>・プログラムの各回（オリエンテーション、グループメンタリング、個別フォローアップ、合同報告会）全てに参加できること</p> <p>※チームメンバーの一部の業務都合での不参加は可（不参加者には録画を共有します）</p> <p>※オリエンテーションは<b>9月上旬</b>を予定しています</p> <p>・モデル事業に関連する制作物の一般公開に承諾できること</p> <p>※公開前に確認します</p>
応募多数の場合の選定方法	<p>・モデル4地域は、原則、厚生支局エリアの重複が生じないように選定します</p> <p>・応募多数の場合、応募理由や市町村規模、地域関係者との連携状況、在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況などを踏まえて候補地域を選定します</p> <p>※選定結果は、8月中旬を目途に応募のあった地域に連絡します</p>

【応募先／問合せ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル

◎事業内容に関するお問い合わせ

E-mail : [zaitaku@jmar.co.jp](mailto:zaitaku@jmar.co.jp) Tel : 0120-003-185(平日10:00-17:00) Fax : 03-3432-1837

担当：加藤、中村（美）、服部、井澤